

読書の楽しみ方

和歌山県立図書館長

読書を楽しむコツ① 選書

本を読むにあたってもっとも難しいことは選書です。信頼をしている方に教えてもらう方法がよいと思います。私の場合は、大学のゼミの先生に良書を教えてもらいました。先生がお亡くなりになられてからは、新聞の書評欄等を参考に、大きな書店に出向き自分で選んでいます。外れの方が多いですが…



「人間の本性について」
エドワード・ウィルソン
(ちくま学芸文庫)

理系の著者が文系の出典を引用していることに驚き、文理ともに修める必要性を痛感しました。

読書を楽しむコツ③

原作と映画を見比べる

若い頃は本を読んで、その本が映画化されれば、よく見に行ったものです。原作と映画を比べて、どちらがよいかを楽しめます。

読書を楽しむコツ② 読む領域を広げる

私はいわゆる文系ですが、50代半ばから理系の本を読みだしました。これが実に興味深く、専門分野まで突き進んでしまうほど面白くなっています。



「わたしが棄てた女」
(講談社文庫)
遠藤 周作

映画化もされている「わたしが棄てた女」に、男の利己性というよりも人間の利己性に納得しました。その後、リチャード・ドーキンスの「利己的な遺伝子」を読み理系にのめり込みました。



「利己的な遺伝子」
(紀伊国屋書店)
リチャード・ドーキンス

ビブリオバトルのすゝめ

ビブリオバトルとは？

右図のような手順で行うため、ゲーム感覚で楽しめるということで急速に広まり、子供のみならず大人にも人気があります。

子どもたちにおススメする3つの魅力(理由)



魅力その1

自分の興味の幅、つまり読書の領域が広がります

ビブリオバトルでは、同年齢や年長者、さらに大人達の本を読んでいる本を知り、刺激を受けます。私の読書のコツでいう選書および読書の領域が広がるわけです。



魅力その2

表現力や説明能力が身に付きます

自分が読んで最もよかった本を他人にも知ってもらうために5分のスピーチを行う必要があるため、自然と内容をま

ビブリオバトル手順

- ① お気に入りの本を持って集まる！
- ② 順番に1人5分間で紹介する！
(プラス2～3人分のディスカッション)
- ③ 「どの本を一番読みたくなったか？」で投票を行い、チャンプ本を決める！



とめる(ある種感想文をかくような)ようになります。さらに、質問に答えるために、本を丁寧かつ深読みするようになります。



魅力その3

人と繋がることができます

本の紹介を通じて、ほかの人の本の読み方や感じ方を知ることができ、紹介された本のみならず、紹介した人を知りたくなります。自分の読んだことのある本でも、こういう読み方があるのだなあ、と新鮮さは失われたいはずですよ。

バトラー募集！挑戦者求ム！



平成26年度きのくに子どもの読書活動推進ネットワークフォーラム(※1)の一プログラムとして、ビブリオバトルを開催します。今回は子供たちも挑戦しやすいように、中・高生部門も設けています。

バトラーとしてのお申込み等詳細については、和歌山県文化情報センター(073-436-9530)にお問い合わせください。

※1 フォーラムに出席を希望される方は、県生涯学習課又は各市町村教委にお問い合わせください。

演台の前で発表		決勝	
中高生部門 一般部門 実行委員会推薦者	5名 2名 4名	中高生部門 一般部門	3名 1名
平成27年1月18日(日) メディア・アート・ホール		4名	
予選における決勝進出者は、各バトル会場における得票率を算出し、上位の者から各会場・各部門の決勝進出定員にあわせて選出します。		3名	
定員11名		定員25名	
		紀北予選	
		平成26年12月13日(土) 県民文化会館	
		定員25名	
		紀南予選	
		平成26年12月14日(日) 情報交流センター Big-U	

秋から春にむけて 育てませんか？

代表的な秋植え球根はチューリップです。
寒さにとっても強く、
冬季の水やりを忘れなければ、
まず咲いてくれる丈夫な球根植物です。

●植え付け時のポイント

秋の気温が下がって
肌寒くなった頃が植え付け時期です。
(15℃前後が植え付けの最適の気温です。)
球根は、寒さにあたることによって
芽を出す準備をします。

寒さに十分あたっていない
球根は背丈が伸びず、
芽が細くなり花付きが悪くなります。

●栽培のポイント(鉢植えの場合)

植え付け時期 10月～11月(暑い日はさけて植える)
植え付け用土 培養土に赤玉細粒を加えます。
水やり 表面が乾いたら、たっぷりやります。
開花時期はよく乾きます。

肥料 特に必要ありません。

～あとは、春を待ちましょう～

賞歴

平成26年 第20回 キワニス賞
平成24年 第11回 わかやま環境賞特別賞
「和歌山県立和歌山高等学校 育友会」
平成21年 第13回 和歌山県花いっぱいコンクール
優秀賞「土いじりの会」

耳寄り情報

和歌山県立和歌山高等学校では、毎年
4月に「チューリップ」フェスタを開
催しています。今では、春の風物詩と
なっています。

経過

平成8年 スタート(450球)
平成13年 「土いじりの会」(育友会)
平成15年 第1回チューリップフェスタ開催
(13,000本開花)

植え付け

平成26年度植え付け(来春フェスタ用)
種類／7種類(約12,000本)
球根植え時期／11月上旬予定



平成26年度 秋期特別展

須恵器誕生

新しい土器は古墳時代をどう変えたか

須恵器は5世紀に大陸から伝わった灰色の焼き物です。ヤマト政権が積極的に導入し、瀬戸内海周辺の各地において最古の須恵器が見つかっています。今回の特別展ではそれら各地の須恵器が一堂に会します。

和歌山県内においても和歌山市楠見遺跡から初期の須恵器が多量に発見されており、「楠見式土器」と呼ばれ学史上著名です。

当時、和歌山市一帯にはヤマト政権の主要な港であった「紀伊水門(きのみなと)」がありました。特に、その物資保管庫であった鳴滝遺跡から出土した高さ約1mの「楠見式土器」の大甕は、ヤマト政権の外交を担っていた紀氏の活躍ぶりを示しており、本展の見どころの一つとなっています。

●会 期：平成26年10月4日(土)～12月7日(日)

●会 場：和歌山県立紀伊風土記の丘 常設展示室

●入館料：一 般 350円(20名以上団体割引 290円)
大学生 210円(20名以上団体割引 160円)

※65歳以上・高校生以下・障害者および県内在学の留学生は無料

鳴滝遺跡出土大甕(紀伊風土記の丘蔵、高さ103cm)